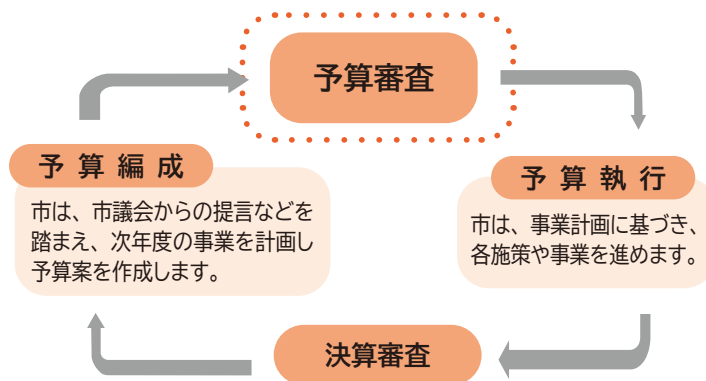


議会が市の予算を チェック

予算特別委員会で予算案を審議

3月定例会では、市長から提出された令和5年度の予算案について、市議会が「市民の税金がどのようなことに使われるのか」「この事業で期待される効果は」「この経費は必要な経費なのか」などの観点から、慎重に審査を行いました。

審査は文書による質疑通告制で行われ、さらに不明な点について質疑しました。審査の過程で委員からどのような質疑や要望があったのか、その一部をお知らせします。



予算編成

市は、市議会からの提言などを踏まえ、次年度の事業を計画し予算案を作成します。

予算執行

市は、事業計画に基づき、各施策や事業を進めます。

決算審査

予算議案

出産育児一時金事業 予算額 20,009 千円

議会の チェック

出生数も低下している中、一時金の増額を見込んだ根拠を伺う。

回答

政府の閣議決定により、子ども・子育て支援の拡充妊産婦の経済的負担軽減のため、令和5年4月の出生から、出産育児一時金が50万円に増額される。出生数は、令和4年度と同数の40人で見込んでいて、1人当たり8万円の引き上げにより320万円の歳出増となっている。



予算議案

空家等対策推進事業 予算額 5,072 千円

議会の チェック

空き家対策支援補助金の利用促進の内容について、どのようなことに対する補助金なのか。

回答

「小美玉市空き家バンク」の利用促進を目的とし、空き家バンク登録物件の取得または賃借に要する費用を対象として、5年以上居住すること等を要件に補助するもの。

予算議案

農業振興補助事業 予算額 20,409 千円

議会の チェック

先端技術導入支援事業補助金6,000千円とは、どのような新技術を導入した農業者が対象となるのか。

回答

ICTを活用した高度な環境測定器や環境制御技術、農業及び肥料散布ドローン、GPS内蔵自動走行トラクター等を導入したスマート農業を推進する農業者を対象に、県の儲かる産地支援事業に上乗せして、導入費用の3分の1、100万円を限度に補助するもの。

